

なごやか地域福祉 ニュース

2021. 夏
第40号



発行：なごやか地域福祉 2020 推進事務局

方向性3 地域で活動する多様な担い手を育む

「なごやか地域福祉2020」における3つの取り組むべき方向性から、第38号では、方向性1「つながり支えあう地域をつくる」について、第39号では、方向性2「一人ひとりの「暮らし」を支える仕組みをつくる」についてご紹介しました。今回は、方向性3「地域で活動する多様な担い手を育む」をご紹介します。

福祉課題・生活課題

地域福祉活動への参加とキーパーソン等の負担の問題

方向性3

地域で活動する多様な担い手を育む

～「支え手」「受け手」の関係を越えて、誰もが活躍できる地域を目指す～



⑤ 多様な主体の参加促進

- I. 地域を知ることから始まる地域福祉
- II. 若者から高齢者までのあらゆる世代、多様な主体への働きかけ
- III. 多様な主体が活躍できる機会づくり

⑥ 地域福祉の支え手の活動支援

- I. 地域福祉活動のキーパーソンをはじめとする活動者を支える仕組みづくり
- II. 地域福祉活動を支える社会資源づくり

公式ホームページでは、計画及び推進状況を順次お知らせしています。

なごやか地域福祉2020

検索



令和3年度「つながり・支え合おう 地域福祉のすゝめ」のご案内

多様な主体の参加促進の一環として、地域福祉活動の実践者やこれから参加してみたい方などを対象に、『新しい生活様式』によるこれからの地域福祉」をテーマとして、地域福祉活動の実践者等によるパネルディスカッションを開催します。

◆日時：令和3年10月29日（金）14時～16時

◆場所：名古屋国際会議場 白鳥ホール

※集合型とオンラインの併用で実施。申込期限 10月8日。

申込・問合せ先：名古屋市社会福祉協議会（電話 911-3193）



令和元年度の様子

こんな取り組みが行われています！〈多様な担い手編〉



コロナ禍における福祉教育の推進

なごやか地域福祉 2020 では、多様性を互いに認めあい、「支え手」「受け手」という関係を超えて、誰もが活躍し役割がもてる地域社会を目指すため、学校や地域での福祉教育の推進を具体的な取り組みの1つに掲げています。

現在、新型コロナウイルスの影響により、学校や地域での福祉教育の実施が難しい状況にある一方で、コロナに感染してしまった方や医療関係者とその家族等への差別や偏見などの問題も起きています。

こうした状況を受け、名古屋市社会福祉協議会では、改めて福祉教育を実施していくことが重要だと捉え、検討会を立ち上げて「コロナ禍における新しい福祉教育プログラム集」を作成しました。プログラム集には、コロナをテーマとし、差別や共生、生活困窮など幅広い分野の6つのプログラムを掲載しています。本プログラム集を活用し、多くの方に「共生」について考えていただく機会をつくりながら、コロナ禍における福祉教育の推進に取り組んでいきます。



コロナ禍における新しい福祉教育プログラム集（令和3年6月発行）

コロナに負けない ボランティア・市民活動の取り組み



コロナに負けない ボランティア・市民活動の取り組み（令和3年2月発行）

名古屋市では、「ボランティア活動の促進協働会議」を設置し、名古屋市、名古屋市社会福祉協議会、大学、企業、NPO が協働して、ボランティアを“したい人”と“必要としている団体”のマッチングイベント「ぼらマッチ！なごや」を年1回開催しています。

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響によりイベントが開催できなくなった代わりに、コロナ禍においても活動を継続していた様々な市民活動団体にコロナ禍での活動への影響や活動を続けるための工夫などについて聞き取り取材を行い、活動を継続するためのポイントをまとめた「コロナに負けない ボランティア・市民活動の取り組み」を発行しました。

オンラインや感染対策を講じた上での開催、安心して活動できるガイドラインの作成など10の事例を紹介しています。

冊子の内容は、名古屋市社会福祉協議会のホームページにも掲載されています。

【編集・発行】名古屋市健康福祉局高齢福祉部地域ケア推進課 ・ 名古屋市社会福祉協議会地域福祉推進部

Tel 052-972-2548 / Fax 052-955-3367

◎公式ホームページ <http://www.city.nagoya.jp/> トップページ＞市政情報＞分野別の計画・指針・調査結果＞名古屋市地域福祉に関する計画

